【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【公表番号】特表2009-526634(P2009-526634A)
【公表日】平成21年7月23日(2009.7.23)
【年通号数】公開・登録公報2009-029
【出願番号】特願2008-554269(P2008-554269)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｊ　13/00　　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　 1/167　 (2006.01)
Ｇ０２Ｆ　 1/17　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｊ　13/00　　Ａ
Ｇ０２Ｆ　 1/167
Ｇ０２Ｆ　 1/17

【手続補正書】
【提出日】平成22年1月20日(2010.1.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
連続する第２の油相中に液滴として分散した第１の油相を含有する、コロイド的に安定な油中油型エマルションを含む組成物であって、前記液滴が、１０ｎｍから１０００ｎｍという粒径の個数中央値を有し、前記第１の油相が、前記第２の油相中で実質的に不混和性であり、前記第１の油相が、第１の油成分として１又は複数の油を含み、前記第２の油相が、第２の油成分として１又は複数の油を含み、前記第１の油成分が、少なくとも１つの液体有機リン酸化合物を含み、前記第１の油相が、任意選択で、着色剤及び／又は重合体をさらに含む、組成物。
【請求項２】
前記２相のそれぞれの屈折率間の差が、ゼロから０．３であるように、前記連続する第２の油相の屈折率が、前記分散した第１の油相の屈折率に実質的に一致し、前記第１及び第２の油成分の誘電率が、前記相の油成分にいかなる固体の添加剤も添加する前に、それぞれ、前記２相において、どちらも独立して２５未満である、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
前記第１の油成分としての前記１又は複数の油が、有機基を置換又は非置換することができる、分枝又は非分枝のアルキル、シクロアルキル、アルキルシクロアルキル、アリール、及び、アルキルアリールホスフェート、並びに、その混合物からなる群から選択される、請求項１に記載の組成物。